

クイックスタートガイド



iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP

Ultra-Lightweight, High-Density 6000/3000/1000-Watt
Power Amplifier with DSP Control and USB Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

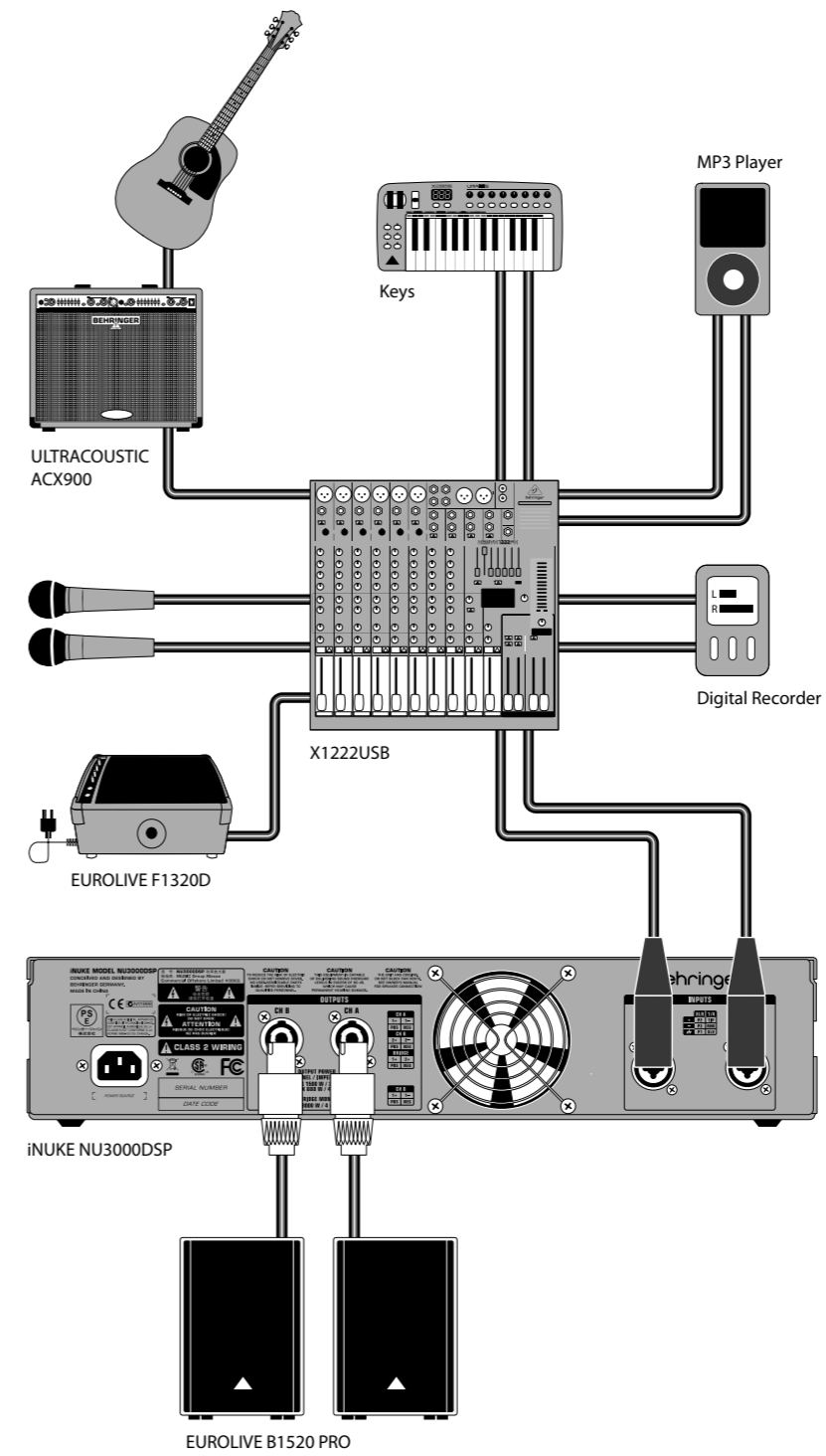
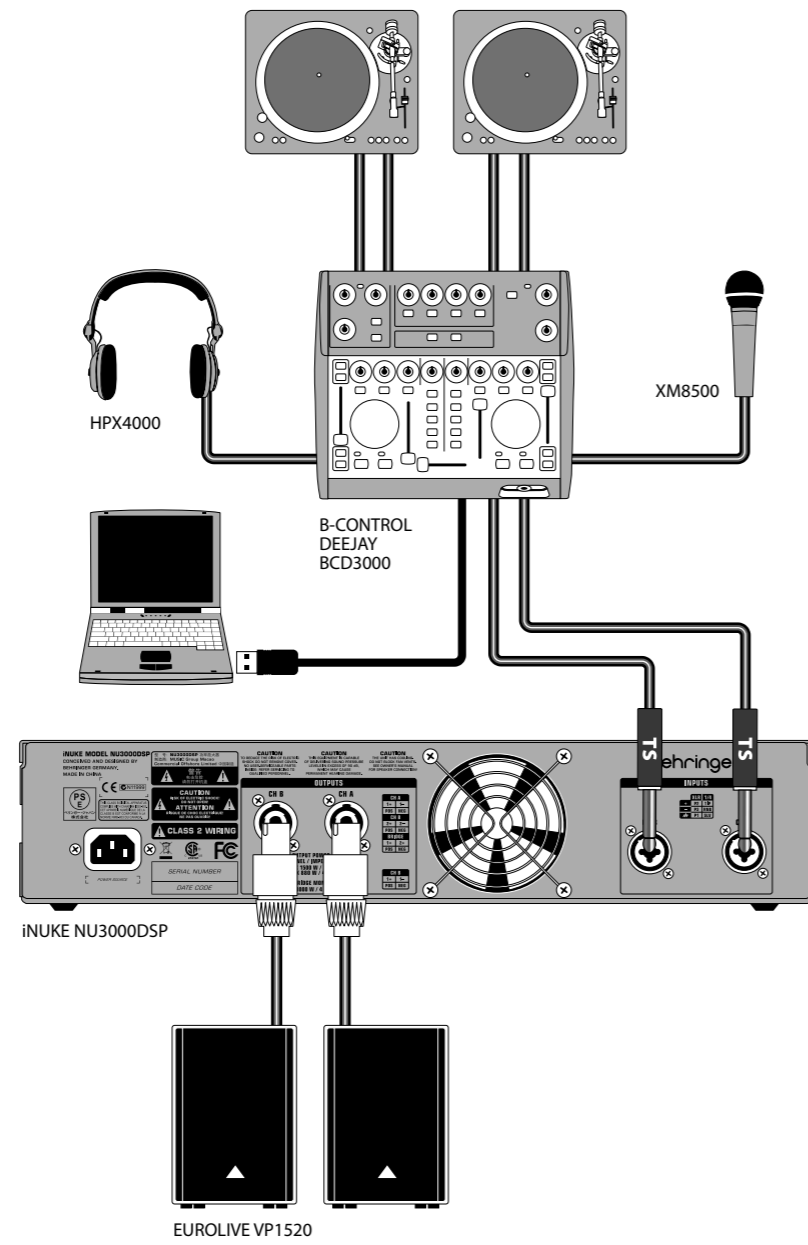
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

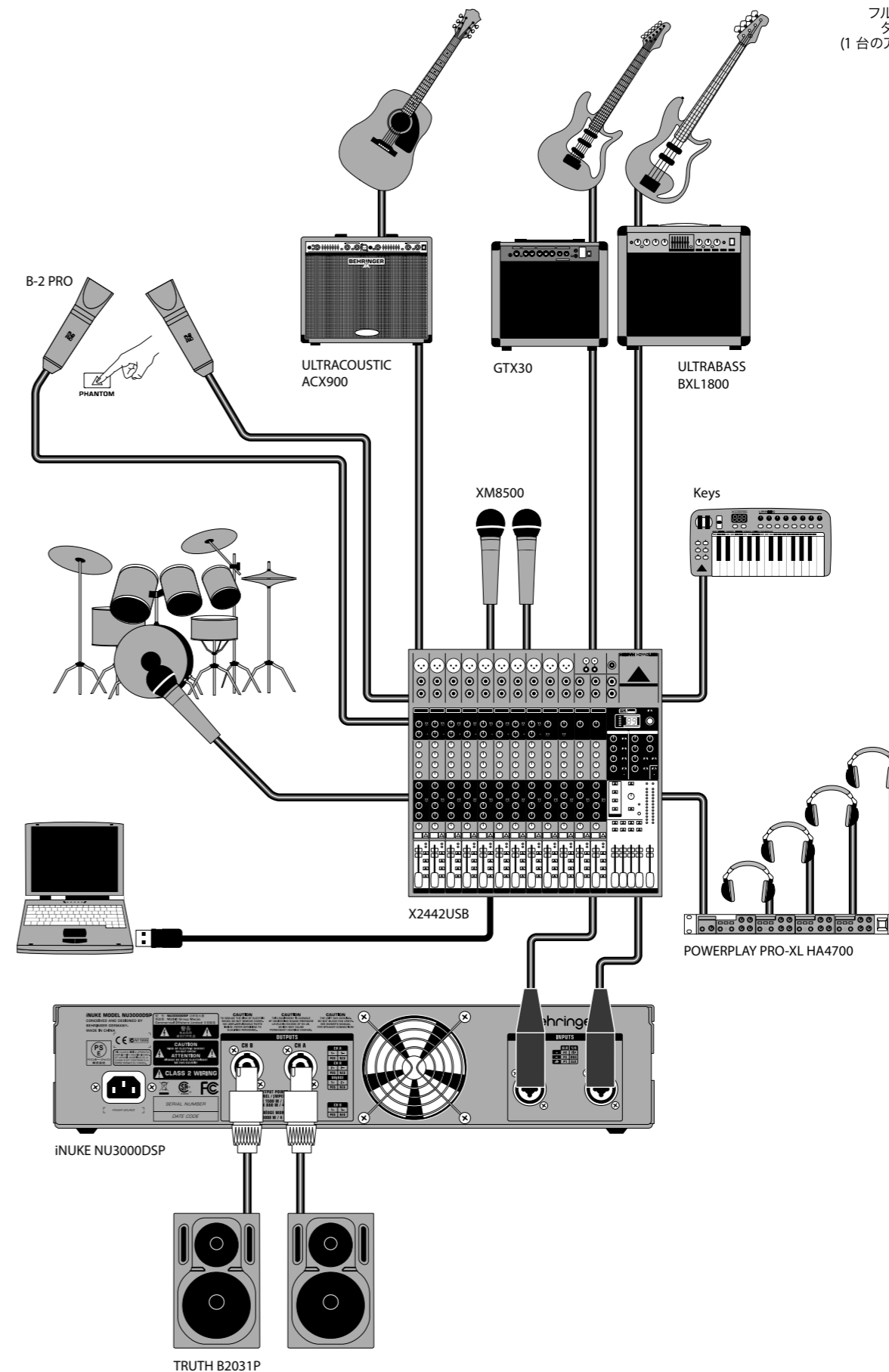
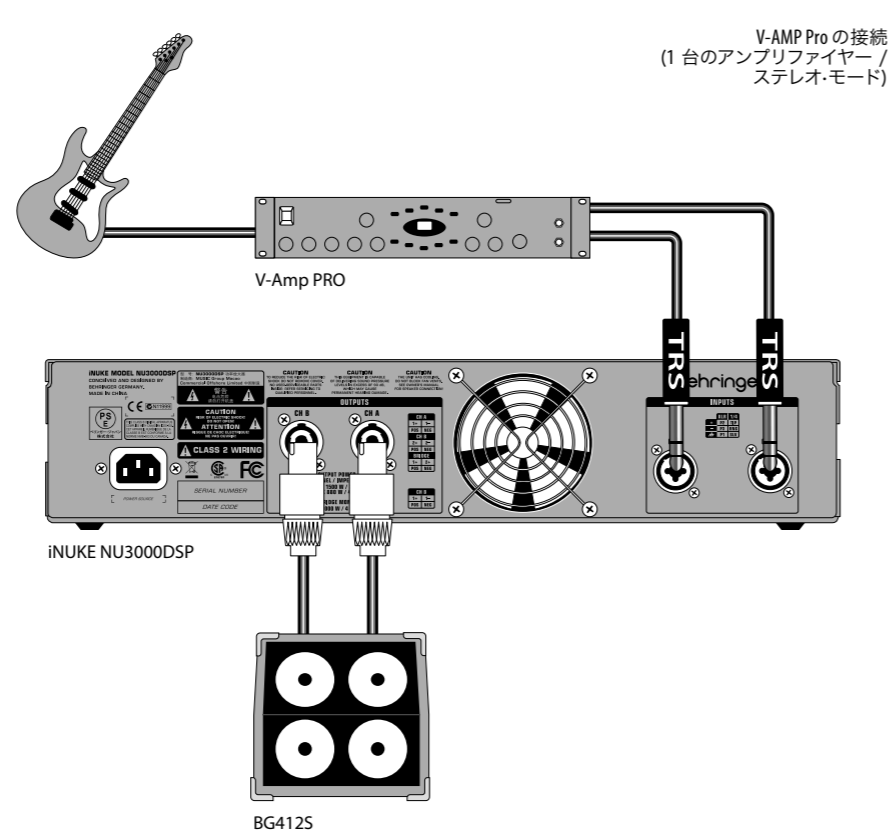
iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP フックアップ

ステップ 1: フックアップ



iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP フックアップ

ステップ 1: フックアップ



iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP コントロール

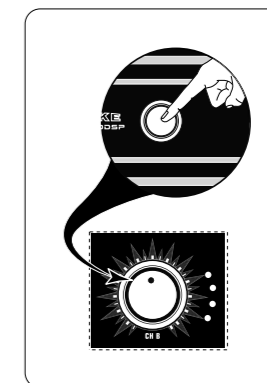
ステップ 2: コントロール

SIGNAL および **LIMIT LED** は、それぞれのチャンネルの信号レベルを表示します。もし赤の **LIMIT LED** が頻繁に点灯するときは入力 CH A/CH B コントロールを下げてください。

PROCESS ボタンで DSP プロセッシング モジュールを操作します。

LCD SCREEN は現在の DSP モジュールとパラメーター設定を表示します。

POWER ボタン / LED このボタンでアンプリファイヤーの電源をオン / オフします。



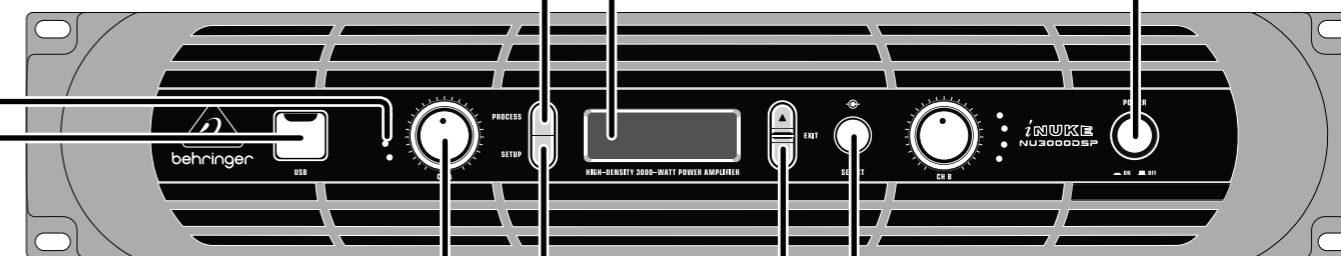
USB 接続でファームウェア・アップデートとコンピューターからのパラメーター・コントロールが可能です。Behringer.com では DSP コントロールソフトウェアのダウンロードができます。

これらのノブを使って入力レベルを調節します。ゲインを上げるには時計方向に、ゲインを下げるにはノブを反時計方向に回します。

SETUP ボタンで DSP プロセッシング モジュールのパラメーターを操作します。

UP/DOWN/EXIT ボタンで DSP モジュールとパラメーター、またはトップ階層の iNUKE 画面 (中央のボタン) を切り替えます。

SELECT エンコーダー・ノブでグラフィックとエディット・モードの切り替え (押す) およびパラメーター値を変更 (回す) します。

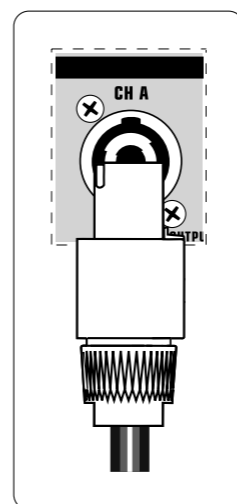


iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP コントロール

ステップ 2: コントロール

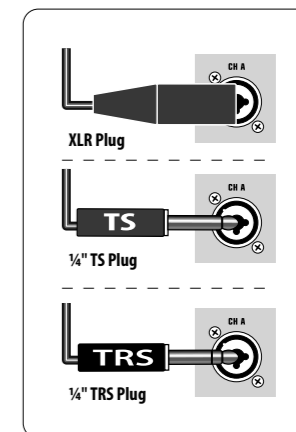
BREAKER

(自動安全装置、NU6000DSP only)。問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び作動させることができます。従来のヒューズの代わりに果たすものです。

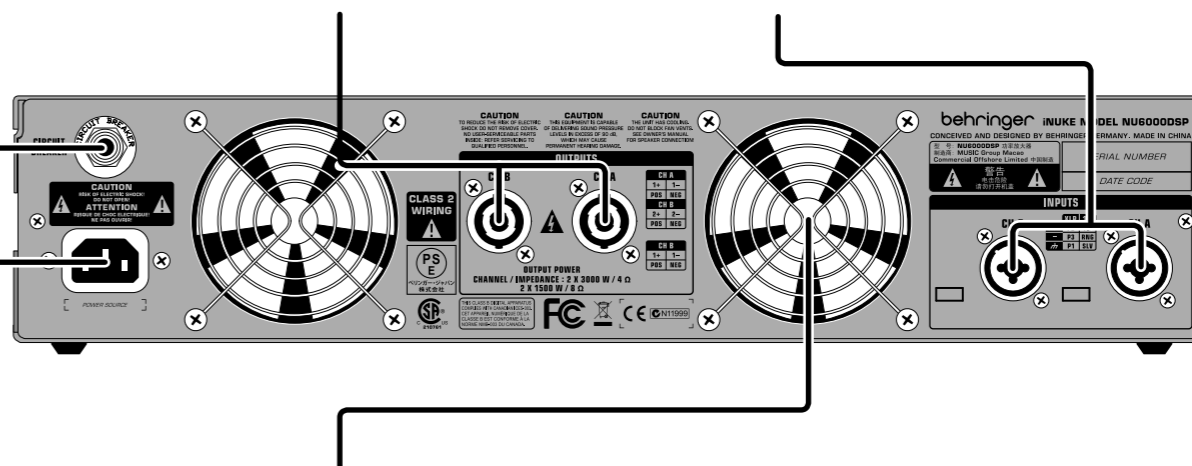


一出力一回転ロック・プラグ付きのプロフェッショナル用スピーカーケーブルを使って、アンプリファイヤーをスピーカーに接続します。

XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ (バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ (アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。



電源の接続 対応する電源コード (同梱) を使ってこの IEC 電源コネクタに接続します。

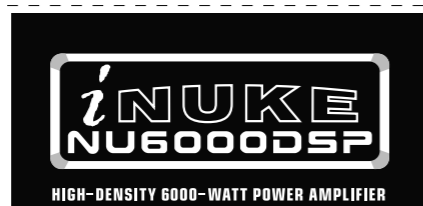


通気用ファン ファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。

iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1** POWER ボタンを押してアンプの電源を入れます。LCD ディスプレイにスタートアップ画面が表示されます。



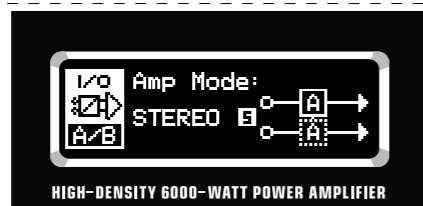
- 2** PROCESS ボタンを押すと、DSP 画面が表示されます。

- 3** 各画面で SELECT エンコーダー・ノブを押し、グラフィック・モードとエディット・モードを切り替えます。

- 4** グラフィックモードでは、SELECT エンコーダー・ノブでアクティブなチャンネルとモジュール・ナンバーを選択します (例: DEQ フィルター A#1 または A#2)

- 5** エディット・モードでは、SELECT エンコーダー・ノブでパラメーターの変更をします。UP/DOWN/EXIT ボタンを押して値とチャンネルを操作します。

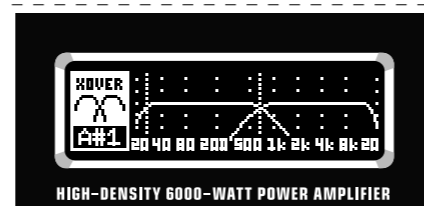
- 6** I/O 画面 (アンプ・モード) では以下の信号パスを選択します:
BRIDGE、DUAL (デュアル・モノ)、STEREO、BIAMP1 または BIAMP2



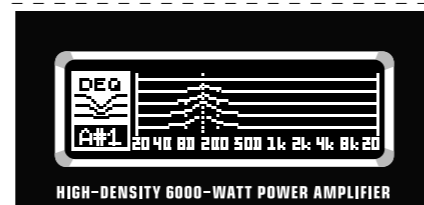
- 7** PEQ 画面では、最大 8 つのパラメトリック・イコライザー・フィルターを使用して音を処理します。



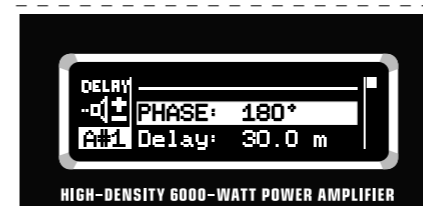
- 8** XOVER 画面では、最大 2 個までのカットオフ周波数クロスオーバー・ポイントを、また各アウトプットには最大 10 個までの異なるフィルターカーブを選択できます



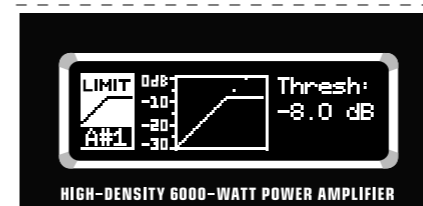
- 9** DEQ スクリーンでは、ダイナミック EQ モジュール (各ステレオチャンネル最大 2 つ) を使用して、信号の指定した周波数レンジをモニターします。特定の周波数レンジをブーストまたはカットするために、レイシオ (Ratio)、アタック (Atime)、リリース (Rtime) パラメーターに基づいて、ダイナミック EQ をプログラムすることもできます (バンドパス、ハイパス、ローパス)。



- 10** DELAY 画面では、システムの位相相殺の問題を調整します。特定のチャンネルの位相 (PHASE: 0 または 180)、および / または信号の出力の遅延 (Delay: 0-300 msec) を行うことで、距離にしたがい変化する音 (例: ステージから観客席へ向けた PA スピーカーから出力される音との位相調整) にマッチさせます。



- 11** LIMIT 画面では、内蔵リミッターのスレッシュホールド (Threshold)、リリース (Rtime)、ホールド (Hold) などを設定を行います



- 12** SETUP ボタンを押すと、プリセットのロード、パネルのロック、パスワード設定、LCD コントラストの調整ができます。



- 13** トップ階層の iNUKE 画面に戻るには、EXIT ボタンを押します。

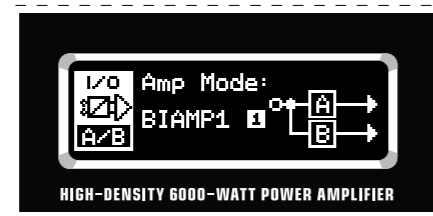
注: iNUKE DSP は直近の変更を 2 分後に自動的に保存します。また、EXIT ボタンを押しメインスクリーンに戻ってきた場合にも自動的に保存がされます。これらの保存された内容は次回本体の電源投入後に利用可能になります。

iNUKE NU6000DSP/NU3000DSP/NU1000DSP Bi-amping

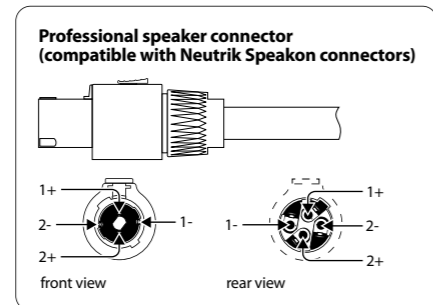
ステップ 4: Bi-amping

バイアンピングではモノラルの信号を上下の周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別々のスピーカー・キャビネットに割当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

1 アンプ・モード画面で BI-AMP 1 設定を選択します。



2 回転ロック式コネクタ付きの 4 芯のスピーカーケーブルを OUTPUT 1 からサブウーファーに接続します。(サブウーファーは 2+ と 2- の芯から低周波数域の信号を受け取ります。一方、中高域の周波数帯は Channel A の 1+ と 1- の芯を使います)。



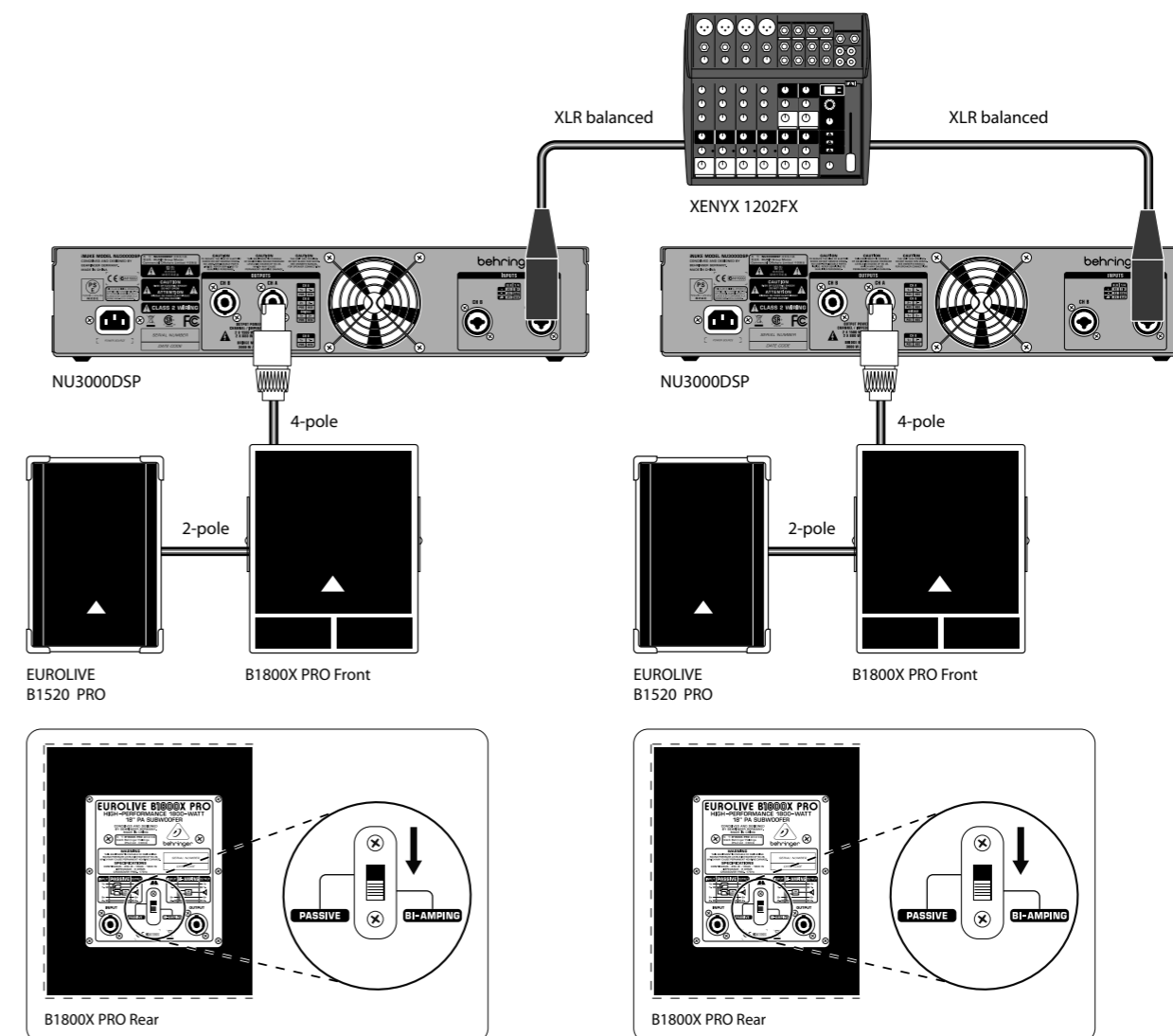
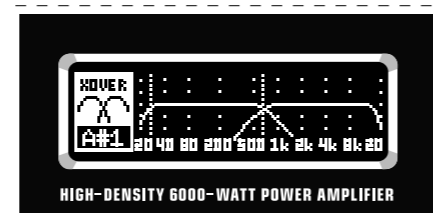
3 サブウーファーを“バイアンピング”のモードに設定します。

4 回転ロック式コネクタ付きの 2 芯のスピーカーケーブルを、サブウーファーから別のスピーカーに接続します。

5 UP/DOWN ボタンを使用して XOVER 画面に行き、適切な high/low クロスオーバー周波数を設定してください。

6 チャンネル A#1 の High パスフィルター・タイプ (HPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (HPfreq) をおおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの Low パスフィルター (LPtype: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。

7 チャンネル B#1 の Low パスフィルター・タイプ (LPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (LPfreq) をおおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの High パスフィルター (HP type: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。



JP 技術仕様

	NU6000DSP	NU3000DSP	NU1000DSP
Output Power			
Maximum Output Power			
Stereo			
8 Ω per channel, stereo	1600 W	440 W	160 W
4 Ω per channel, stereo	3100 W	820 W	310 W
2 Ω per channel, stereo	—	1520 W	530 W
Bridged mono			
8 Ω	—	1520 W	620 W
4 Ω	—	3000 W	1050 W
System			
Controls			
Front	Power switch, Gain controls (channels A and B) DSP section rotary push-encoder, Buttons for Process, Setup, Up/Down, Exit		
Indicators			
Power	Amber backlit illuminated gain controls		
Limit (per channel)	0 dB, full scale		
Signal (per channel)	-24, -12, -6 dB		
Digital Signal Processing (DSP)			
Display	LCD 128 x 32, amber backlit		
Digital delay function (per channel)	0 - 300 ms		
Digital crossover function	3 filter types, up to 48 dB/octave		
Digital EQ function (per channel)	8-band parametric, 2-band dynamic equalizer		
Digital dynamics function (per channel)	Zero attack limiter (peak)		
Presets	20 total presets, 19 user-definable		
Connectors			
Inputs	2 x combo jacks		
Input impedance	10 kΩ unbalanced, 20 kΩ balanced		
Outputs	2 x locking-style professional speaker connectors		
Output circuit type	Class D	Class D	Class D
Distortion	<0.2%	<0.3%	<0.1%
Frequency response	20 Hz to 20 kHz, +0 / -2 dB	20 Hz to 20 kHz, +0 / -1 dB	20 Hz to 20 kHz, +0 / -1 dB
Damping factor	>140 @ 8 Ω	>145 @ 8 Ω	>155 @ 8 Ω
Signal-to-noise	>98 dB		
USB	Front panel USB connector type B for remote control of DSP section		
Circuit Protection			
Cooling	Continuously variable speed fan, Back-to-front air flow		
Amplifier protection	Thermal and DC protection, Stable into reactive or mismatched loads		
Load protection	On/off muting, DC-fault power supply shutdown		
Power Supply, Power Consumption @ 1/8 Rated Power, Voltage (Breaker/Fuses)			
USA / Canada	120 V~, 60 Hz (25A)	120 V~, 60 Hz (T 10 A H 250 V)	120 V~, 60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
UK / Australia / Europe	220-240 V~, 50/60 Hz, (12A)	220-240 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz, (12A)	220-240 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Japan	100 V~, 50/60 Hz, (25A)	100 V~, 50/60 Hz (T 10 A H 250 V)	100 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
Power consumption @ 2 ohms	—	350 W	150 W
Power consumption @ 4 ohms	620 W	210 W	70 W
Mains connector	Standard IEC receptacle		
Dimensions/Weight			
Dimensions (H x W x D)	appr. 3.5 x 19 x 12.91" / 89 x 483 x 328 mm	appr. 3.5 x 19 x 9.76" / 89 x 483 x 248 mm	appr. 3.5 x 19 x 9.76" / 89 x 483 x 248 mm
Weight	appr. 11.9 lbs / 5.4 kg	appr. 6.8 lbs / 3.1 kg	appr. 6.4 lbs / 2.9 kg

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の“Support”内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の“Support”内にある“Online Support”でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC